

1

**みんなで作る
住みよいまち**

① 環境の保全

省エネ・CO₂削減対策

9万円

(担当：住民課住民活動グループ)

「新十津川町環境基本計画（平成22年度～31年度）」では、環境保全のために達成すべき目標を掲げ、住民、事業者、行政がそれぞれの役割で実行すべき行動計画を定めています。

この基本計画は、平成24年度で初期の3年を終え、平成25年度からの3年は計画の中期段階に入っています。平成25年度から3年間の行動計画では、初期の行動計画が見直され、新たに取り組む事業が盛り込まれました。

平成26年度は、地球温暖化防止に向け、家庭の省エネと家計節約に役立つ「うちエコ診断事業」に11人の受講があり、受講者に対し、省エネやCO₂削減方法を提案しました。

※うちエコ診断事業とは

家庭のエネルギー使用料や光熱費などの情報をもとに、ライフスタイルに合わせて無理なくできる省エネ、CO₂削減策を提案する事業です。

【環境基本計画の4つの基本目標（重点項目）】

- 森づくり・河川の保全
- 環境美化・ごみ減量・不法投棄防止
- 地球温暖化防止（CO₂の削減）
- 環境学習・環境教育



環境を保全する活動

33万円

(担当：住民課住民活動グループ)

職員の環境保全に関する知識向上のため、研修会に参加しました。

また、蜂の巣駆除用の防護服を更新したほか、町の施設や敷地内で発生した蜂の巣を5件駆除しました。



危険空き家対策

3万円

(担当：住民課住民活動グループ)

危険空き家対策を進めるため制定した「新十津川町空き家等の適正管理に関する条例」に基づき、「新十津川町空き家等対策審議会」を開催し、危険空き家の対策を検討しました。



ごみ収集 3999万円

(担当：住民課住民活動グループ)

家庭から出されたごみの収集運搬や指定ごみ袋の作成を行いました。

新十津川町環境基本計画では、町民1人が1日に出すごみの量を平成31年度に695グラムにまで減らそうという目標を立てています。

平成26年度は722グラム(前年度771グラム)でしたので、目標達成には分別の強化を図り、ごみ減量に向けて取り組んでいくことが大切です。

行政としても、ごみの減量に向けてご家庭でできる取り組みなどを周知していきますので、今後も皆様のご協力をお願いします。

<財源内訳>

ごみ袋販売代金	1242万円
資源売り払い収入	121万円
町の負担	2636万円

生ごみ処理機の購入助成 26万円

(担当：住民課住民活動グループ)

家庭から排出される生ごみを堆肥として有効に活用し、生ごみの減量化を図るため、処理機器を購入した方に費用の一部を助成しました。

平成26年度助成実績は、コンポスト容器37台、電気式生ごみ処理機3台です。



ごみ減量!



**堆肥として
有効利用!**



埋め立て処理施設の管理 695万円

(担当：住民課住民活動グループ)

総進区にあるごみ埋め立て処理施設の維持管理を行いました。現在は、「リサイクリーン」で細かく砕かれた燃やせないごみと中空知衛生施設組合で処理された汚泥などを埋め立てています。

平成26年度は水処理の主力設備の修繕を行いました。

<財源内訳>

ごみ処理業許可手数料	2万円
町の負担	693万円



ごみ焼却施設運営 1730万円

(担当：住民課住民活動グループ)

平成25年度から稼働している、中空知、北空知管内14市町の共同運営による燃やせるごみの焼却施設「中・北空知エネクリーン(所在地：歌志内市)」の運営費を負担しました。

燃やせるごみは、いったん「リサイクリーン」に集められて圧縮された後、「中・北空知エネクリーン」に運ばれて焼却処理され、発電に利用されます。



火葬場施設の負担金 163万円

(担当：住民課住民活動グループ)

2市2町（滝川市・赤平市・雨竜町・新十津川町）で共同運営している火葬場施設「滝の川斎苑」の運営費を負担しました。



不法投棄ごみへの対策 26万円

(担当：住民課住民活動グループ)

不法投棄されたごみの処分を行いました。
また、不法投棄抑制のための看板を新たに10枚作成し、各地に設置しました。



② 生活基盤の充実

公営住宅の維持管理 4430万円

(担当：建設課都市管理グループ)

公営住宅381戸の維持管理を行いました。

平成24年度に策定した町公営住宅等長寿命化計画により、橋本団地4棟の改善工事として屋根ふき替え、外壁塗装を行いました。

<財源内訳>

国の補助金	1317万円
使用料（家賃など）	1326万円
町の負担	1787万円



下水道の維持管理 2億607万円

(担当：建設課都市管理グループ)

町では中心市街地には公共下水道を、花月地域と大和地域の市街地には農業集落排水を整備し、その他の地区には合併処理浄化槽の整備を進めています。

平成26年度は、下水道施設の長寿命化を図るための計画を策定しました。

また、集落排水施設の点検整備と維持管理を行いました。

<財源内訳>

国の補助金	335万円
使用料	7187万円
町の負担	1億3085万円
（内 借入金	320万円）



定住の促進

3066万円

(担当：総務課企画調整グループ)

平成26年度から3カ年事業とし、人口減少の抑制を図り本町への定住を促進するため、町内に住宅を新築または取得した方を対象に、「住宅取得奨励金」を交付しました。

また、新聞への広告掲載や折り込み広告、看板の設置などで、助成制度のPRを行いました。

<財源内訳>

町の負担 3066万円
(内 借入金 2970万円)

【奨励金の交付実績】

物 件	申請者	件 数 (うち町内業者)	人 数	助成額	商品券 (中学生以下の子ども1人に対し15万円相当のふれあい商品券)
新築住宅	町民	5件 (2件)	14人	790万円	15万円分 (1人)
	転入者	8件 (1件)	26人	1390万円	150万円分 (10人)
中古住宅	町民	4件	16人	280万円	120万円分 (8人)
	転入者	2件	5人	200万円	30万円分 (2人)
合 計		19件	61人	2660万円	315万円分 (21人)

③ 交通環境の充実

地域公共交通の確保

1594万円

(担当：総務課企画調整グループ)

生活の足を確保することを目的に、町内各方面を運行している交通事業者に対して、運行費用の一部を助成しました。

平成25年4月から開始した徳富・総進方面を運行する乗合タクシーと、花月・砂川方面を運行する乗合ワゴンに対して、運行補助を行い、延べ3839人(494人増)の利用がありました。

新十津川町地域公共交通活性化協議会では、運行状況を把握しながら地域の皆さんにとってより良い公共交通となるよう協議しました。

また、バス待合所について、破損箇所の修繕を行いました。

【補助対象路線】

- 中央バス 滝川北竜線
滝川浦臼線
ふるさと公園線
- 乗合タクシー 徳富・総進方面
- 乗合ワゴン 花月・砂川方面

【地域公共交通活性化協議会負担金】

パンフレット・チラシ作成経費



町道改修の実施

1億1679万円

(担当：建設課土木グループ)

平成26年度は、次の道路の整備を行いました。

- ①西2線道路改築舗装工事（平成20～26年度）
 - ・全体計画：南4号線から南13号線まで
 - 工事区間：南8号線から南10号線まで
 - 工事内容：舗装仕上げ 延長780m
道路改築 延長50m
- ②西1線舗装補修工事（平成24～26年度）
 - ・全体計画：南5号線から南11号線まで
 - 工事区間：南6号線から南7号線まで
 - 工事内容：舗装の部分打替え 延長373m
- ③北8号線舗装補修工事（平成25～27年度）
 - ・全体計画：国道275号線から北8号線まで
 - 工事区間：北6号線から大和北7号線まで
 - 工事内容：舗装1層の上乗せ 延長550m
- ④南中央団地道路舗装補修工事（平成25～27年度）
 - ・全体計画：南中央1号通り、南中央2号通り
南中央1条通り、南中央2条通り、
南中央4条通り
 - 工事区間：南中央2号通り、南中央4条通り
 - 工事内容：舗装1層の上乗せ 延長216m
箱型側溝 延長56m
- ⑤みどり団地内道路舗装補修工事（平成24～26年度）
 - ・全体計画：北1線他団地内道路
 - 工事区間：北1線から東側
 - 工事内容：舗装1層の上乗せ 延長1785m
- ⑥錦野団地内道路改修工事（平成26～27年度）
 - ・全体計画：錦野1号通り他団地内道路
 - 工事区間：錦野1号通り、錦野2号通り、
錦野1条通り
 - 工事内容：舗装1層の上乗せ 延長270m
箱型側溝 延長642m

<財源内訳>

国の補助金 2450万円
町の負担 769万円
町の負担 9229万円
(内 借入金 8460万円)

橋りょう修繕の実施

5027万円

(担当：建設課土木グループ)

町内135カ所に架かっている橋は、適切な時期に修繕を行うことで、長期間安全に使用することができ、経費の削減にもつながります。

新天津川町橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、計画的に修繕を行い、橋りょうの健全化に努めました。

平成26年度は、次の道路橋の補修と補修設計を行いました。

- ⑦南幌加橋補修工事（平成26～28年度）
 - ・全体計画：既設護岸補強、伸縮装置交換
高欄・排水管補修
 - ・平成26年度の実績
橋 長：54.0m
幅 員：5.0m
工事内容：既設護岸補強
 - ⑧清仁橋補修工事（平成26～28年度）
 - ・全体計画：既設橋台補修、伸縮装置交換
橋面防水塗装、防護柵交換
 - ・平成26年度の実績
橋 長：7.3m
幅 員：4.5m
工事内容：既設橋台補修、防護柵交換
- 補修設計業務
- ⑦南幌加橋 橋長：54.0m
 - ⑧清仁橋 橋長：7.3m
 - ⑨第1樺戸橋 橋長：16.3m
 - ⑩岡野橋 橋長：27.6m
 - ⑪夢色の橋 橋長：111.2m

<財源内訳>

国の補助金 3140万円
町の負担 1887万円
(内 借入金 1730万円)



町道の除排雪

1億2140万円

(担当：建設課土木グループ)

冬期間の快適な生活環境と安全な交通の確保を図るため、町所有の機械15台と事業者から借上げた機械8台を使って町道の除排雪を行いました。

また、みどり町有地に雪捨て場を開設し排雪作業の効率化を図りました。

<財源内訳>

国の補助金 416万円
町の負担 1億1724万円



年 度	H21	H22	H23	H24	H25	H26
降 雪 量	875cm	553cm	812cm	850cm	786cm	758cm
最 大 積 雪 量	159cm	110cm	150cm	125cm	140cm	102cm
一 斉 除 雪 回 数	44回	27回	42回	53回	43回	40回
一 斉 排 雪 回 数	2回	1回	2回	2回	2回	1回
決 算 額	1億2872万円	7886万円	1億3718万円	1億2850万円	1億2223万円	1億2140万円

除雪車の購入

1206万円

(担当：建設課土木グループ)

除排雪作業を行っている町所有の機械のうち、古くなった除雪ドーザを1台更新しました。

<財源内訳>

国の補助金 624万円
町の負担 582万円
(内 借入金 320万円)



道路付属物の点検

698万円

(担当：建設課土木グループ)

道路には道路照明や案内標識など、落下すると危険な道路付属物があります。

道路照明165基と案内板標識48基の点検を行った結果、ボルト交換などの小規模な修繕を行い、安全を確認しました。

<財源内訳>

国の補助金 454万円
町の負担 244万円



事業名	決算額	実施概要
環境の保全		
狂犬病の予防	7万円	新規登録17頭、予防注射済票を249頭分交付しました
墓地の管理	65万円	町内各地の墓地と弥生霊園の維持管理を行いました
資源リサイクルの奨励	34万円	資源ごみを回収する10団体に奨励金を支出しました
ごみ処理施設の負担金	5858万円	ごみ処理施設「リサイクリーン」の運営費を負担しました
合併処理浄化槽設置の支援	150万円	生活排水対策で浄化槽設置者4人に助成しました
し尿収集	591万円	し尿くみ取りや運搬を行いました
し尿処理施設の負担金	1916万円	し尿処理施設中空知衛生センターの運営費を負担しました
石狩川流域下水道組合負担金	657万円	新しいし尿処理施設の共同運営費を負担しました
汚泥等処理(MICS)効果促進事業負担金	1386万円	新しいし尿処理施設の建設費用を負担しました
生活基盤の充実		
町有住宅の維持管理	819万円	町有住宅の修繕などの維持管理を行いました
建築事務	19万円	事務手続きに必要な建築法令や技術の講習会に参加しました
都市整備の推進	2万円	都市計画の適正管理を図るため関係機関と協議しました
公園の維持管理	1375万円	公園の草刈りなどの環境整備や遊具の点検補修を行いました
交通環境の充実		
町道の維持管理	3955万円	夏期の町道の維持や不良箇所の補修を行いました
道路台帳の管理	367万円	整備・改良が完了した町道の道路台帳を更新しました
道路維持車両の管理	1460万円	砂利道の路面整正や除排雪作業のための車両を管理しました
道路名標識板の設置	508万円	町道名が分かるように表示板を28基設置しました
除雪センターの管理	24万円	夏期町道維持や除排雪作業の拠点施設を管理しました